

# 2019(令和元)年度ブロック研修会報告書

ブロック名 北海道

2019(令和元)年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

研修テーマ	地域に責任を持った活動の強化
開催日時	令和元年 9月7日(土) 13時30分～16時30分
会場	名称: WEST19 住所: 札幌市中央区大通19丁目
参加人数	(77人) ※講師・発表者・運営役員・研究報告者を含まない
研修の概要	北海道ブロック研修会 1 全国保健師長会令和元年度活動方針説明 全国保健師長会 常任理事 戸矢崎悦子 氏 2 調査研究報告「災害時の保健活動の推進～マニュアル改訂に向けて～」 報告者 森 陽子 研究調査委員 3 講演 「災害時の保健活動～受援のあり方を考える～」 講師 宮城県北部保健福祉事務所栗原地域事務所(栗原保健所) 技術副参事兼技術次長(総括担当) 佐藤きえ子氏 4 グループ別意見交換・全体共有
参加者の感想など	○活動方針の説明や研究報告について直接話を聞くことで会への理解を深めることができた。 ○マニュアルの改訂については、完成を心待ちにしているとの声が多数聞かれた。 ○講演「災害時の保健活動～受援のあり方を考える～」については、実際に全国からの支援を受け入れる立場や近隣の市町村にサポートをした経験を踏まえ、宮城県の取り組みを栗原地域事務所(栗原保健所)の佐藤きえ子技術副参事兼技術次長からお話ししていただいた。災害時の保健活動に取り組むには、平時からの保健師間の関係性や役割の明確化、関係機関との情報共有などがいかに重要であるかを学ぶことができた。 ○引き続き行ったグループワークでは、昨年の北海道胆振東部地震を受け、各自治体や関係機関において災害時に保健師としての活動の在り方を見直し、検討を進めている状況など互いに共有することができた。講義で得た気づきを深めることもでき、満足度の高い研修となった。